臺灣日日新報
本日四頁
[illegible]

褚特派大使に對し
畏し午餐の御催し
けふ謁見仰せつけらる

【東京發同盟】日華提携の熱意も新たにわが朝野に感謝の意を披瀝するため來訪した中華民國國民政府訪日特派大使褚民誼外交部長以下訪日使節團一行六氏は一日宮中に參內 天皇陛下に謁見仰せつけられるが、畏くも 天皇陛下には一行のため特に午餐の御催しあらせられる、この日褚特派大使一行は午前十一時三十五分宿舍帝國ホテルを出發、宮中に參內、[illegible]ノ間に於て東鄕外相、松平宮相侍立の上 天皇陛下に謁見仰せつけられ一旦御前を退下 天皇陛下には午後零時三十分改めて豐明殿に出御 朝香宮殿下にも御陪席、褚大使以下訪日使節、隨員並に駐日大使に對し午餐の御催しあらせられ、東鄕外相を始め松平宮相、百武侍從長、蓮沼侍從武官長等側近を召させられ午餐の御陪食を仰せ付けられる

皇帝陛下と御同車
高松宮殿下御閱兵
特命觀兵式場に御成り

【新京三十一日發同盟】宮內府發表（五月三十一日正午）皇帝陛下には本三十一日午前九時十八分帝宮御發、同九時三十分特命觀兵式場に臨幸、御差遣宮殿下には午前九時二十八分御泊所御發、同九時三十五分特命觀兵式場に御成りあらせられ

御差遣宮殿下 皇帝陛下と御同車にて御閱兵、次いで御揃ひにて分列を受けさせられ、御差遣宮殿下には午前十時四十五分式場御發同十一時御泊所に御歸着 皇帝陛下には午前十時五十分式場御發同十一時五分帝宮に還幸あらせられたり

滿洲國軍の威容

【新京卅一日發同盟】 皇帝陛下には 高松御差遣宮殿下を御迎へ遊ばされて新綠薫風にてよく三十一日午前國都興仁大路において特命觀兵式を御擧行 御差遣宮殿下には 皇帝陛下と御揃ひにて式場に臨御、滿洲國軍の精鋭五千を親しく御閱兵遊ばされた、北滿の空[illegible]りとして建國漸く十年、國兵法施行第二年の晴れの日に精鋭を揃へた國軍將兵は今 御差遣宮殿下を迎へ奉る光榮に輝いたのである、この朝 皇帝陛下には陸軍御正裝も御凛々しく宮內府大臣以下を隨へさせられて九時半式場に臨幸、軍樂隊の滿洲國國歌奏樂裡に于治安部大臣の御先導にて御休所に入らせられ御待ち遊ばされる、間もなく 高松御差遣宮殿下には海軍中佐の御軍裝も御颯爽と松平宮務官以下を從へさせられ非常な君が代奏樂の裡に御着遊ばされた 皇帝陛下と御對面[illegible]き御握手を交させられた、次いで于治安部大臣恭しく御先導申上げて式場中央の臺上に進ませられ御揃ひにて立たせ給ふ御英姿、[illegible]の諸兵指揮官于芷山上將御前に進み五千の精鋭粛しく捧銃の敬禮を捧げ奉り、于上將恭しく奏[illegible]加人員を奏上申上げて御前を退下、斯くて于上將の號令一下、ここに 御差遣宮殿下[illegible]の歷史的觀兵式は開始された、嚴肅なる「君が代」の奏樂につれて陽光に映える金色の皇帝旗を先頭に[illegible]始め日滿將星御用自動車は靜かに進み整列する各部隊を嚴しく御巡閱遊ばされた、終つて國務院前で御下車、暫し御休憩の御後再び御揃ひにて臺上に立たせられ親しく分列の敬禮を受けさせられた、[illegible]陽光の下、御前の金色の皇帝旗[illegible]として輝き、[illegible]步兵隊、[illegible]として[illegible]に[illegible]「君が代」奏樂裡に御差遣宮殿下には[illegible] 皇帝陛下にも[illegible]ここに[illegible]特命觀兵式は滯りなく終了した

李鍝公殿下
比島戰線御視察

【マニラ三十日發同盟】南方戰線御視察中の李鍝公殿下には御附武官御隨行にて去る五月二十三日マニラ御着、リンガエン及びコレヒドール島要塞を始めバタアン攻略戰における皇軍將士の勇戰の跡を具さに御視察あらせられるとともに御[illegible]ける白衣の勇士を親しく御慰問あらせられ二十八日御歸還遊ばされた

高松宮殿下
奉迎午餐會

【新京卅一日發同盟】總軍司令官梅津大使主催申上げる高松宮殿下奉迎午餐會は三十一日關東軍司令官兼駐滿大使官邸において畏くも 御差遣宮殿下の御臺臨を仰ぎ盛大に催された、高松御差遣宮殿下には午後零時十五分松平隨員以下各隨員を從へさせられ御泊所御發同二十分軍司令官邸に御着、一旦分室に御小憩の後御食堂に進ませられ正面の御座につかせられた、食堂では梅津關東軍司令官兼駐滿大使を始め[illegible]、[illegible]、武部總務長官、外國使臣など陪席、梅津大使は立つて奉迎の辭を奉つた後、一同起立、祝杯を捧げ奉つれば 殿下には畏くも御答禮遊ばされた かくて 御差遣宮殿下には[illegible]と御談笑遊ばされつつ御機嫌麗しく過させ給ひ終つて同一時過ぎ梅津關東軍司令官兼駐滿大使以下各員の奉送裡に官邸御發、御泊所に御歸還遊ばされた

帝國海軍の傳統と訓練（下）
卓拔の技術と猛訓練
"比率"を無效化 量より質

【東京發同盟】大正三年第一次歐洲大戰勃發とともに帝國は日英同盟の誼によつて支那海岸から遠く地中海まで出動作戰し、聯合國側から絶大の信頼と感謝を送られた、この時期の[illegible]は國產[illegible]を主力として日露戰役當時の[illegible]を補助艦艇として活用してゐたのであるが、[illegible]

海軍航空部 [illegible]青島要塞攻撃に參加し日本海軍初の空中戰を[illegible]したのもこの頃であつた、[illegible]とともに[illegible]の發達に多大の貢獻をなし第二の[illegible]時代の[illegible]をひらいたのである、いま太平洋の怒濤を睥んで米英艦隊を[illegible]して[illegible]たる帝國海軍の主力艦は何れもその[illegible]に置いてゐる、また一方では大戰[illegible]、當時の戰艦の主砲は左右いづれかの舷側にしか[illegible]かつたため[illegible]主砲全部を[illegible]

[illegible]中央線上に配列することに成功したこれで今までの[illegible]右何れの方向でも[illegible]に帝國海軍が世界に誇る[illegible]のである[illegible]

[illegible]なつた、そして帝國海軍に[illegible]一つの[illegible]五・五・三の[illegible]

"質への戰ひ" は前にも[illegible]かくて四十餘年間の[illegible]

[illegible]

鐵の訓練を 重ねつつあ[illegible]たすら[illegible]のだ、ワシントン會議によつて[illegible]相手の十[illegible]の[illegible]ため、もつぱら質の向上に力を注いだ、[illegible]「百發百中の[illegible]」といふ[illegible]

猛烈を極め た訓練は[illegible]

潛水艦乘組 員の勞苦に[illegible]

沈默の三十 年が、[illegible]

英空軍パリを空襲

【ベルリン三十一日發同盟】DNB通信がフランス系通信の報道として傳へるところによれば英空軍は三十日午前二時から四十分間に亙りパリ及びその郊外を爆擊し死者四十名、負傷者約百名を出した、なほその際英機六機は擊墜された

舊法幣と儲備券
二對一で全面的交換
國府・通貨統一措置發表

【南京三十一日發同盟】國民政府財政部では過般の[illegible]により舊法幣の[illegible]中央儲備銀行券による通貨統一を推進することとなりこれがため必要なる法的措置を採つた旨三十一日附左の財政部布告を三十一日發表した

〔財政部布告〕近年以來舊法幣の發行日に益々多きを加へ金融はその平衡を失ひ物價は益々騰貴す故を以て本部は本年三月末日[illegible]を以て新舊法幣[illegible]を停止したり、然れども舊法幣の低落はその後益々顯著にしてあ[illegible]に民心動搖し經濟安定せず速かに中央儲備銀行券による通貨統一を推進するに非ざれば民を救ふるなし、よつて今回これがため必要なる法的措置を採れり

一、嗣今中央儲備銀行券のみを法幣と認め舊幣は特に本部長の定めたる場合の外これが正式使用を認めず

二、舊幣は政府においてこれを回收するため舊幣二に對し一の割合を以て中央儲備銀行券と交換す、但し中央儲備銀行券との交換に代へ國債と交換し又は銀行に對する預金をなさしめることあるべし、交換すべき舊幣は中[illegible]

三、前項の交換に伴ひ交付すべき國債については正當なる事由ある時は中央儲備銀行において額面による擔保をなすのみならず政府は別にこれが整理のための特別會計を設け[illegible]にして且つ速かなる償還を期す

四、現存の舊幣[illegible]に對し一の割合を以て中央儲備銀行券に改められたるものと見做し[illegible]

[illegible]後一切これを無效とす

五、舊幣の和平地區外より和平地區內への搬入については別途嚴重にこれを取締ることとす、右により舊幣の法定通貨性を剝奪するは中央儲備銀行券による幣制の統一を促進せんがためなり、舊幣を中央儲備銀行券と引換ふるに同時に舊法幣所有者を保護するの趣旨なり

右については本日舊法幣整理辦法[illegible]規法の適用方に關する辦法[illegible]舊幣除[illegible]民國三十一年金融安定公債條例[illegible]特殊會計辦法を公布し政府公報財政部公報を以て公布せるも特にここに布告して周知せしむ

和平建國へ工作進展

【南京三十一日發同盟】[illegible]大使館は國民政府今次の幣制整理統一措置が和平建國の重要經濟工作なるに鑑み三十一日左の如き談話を發表した

今般國民政府が舊法幣と中央儲備銀行券とを全面的に交換することとなれるは中央儲備銀行券の地位を益々強固ならしむると共に舊法幣所持者の利益を保護し舊法幣に依る惡性インフレーションの災害より民衆を救はんとするものにして實に和平建國の重要經濟工作なりと云ふべく、右の如く今般の措置は國民政府の根本的施策にして之が實行に依り國民政府の企圖する幣制統一、金融安定、民生向上は着々達成せらるべく日本政府は國民政府及び中央儲備銀行の諸施策に對し常に協力し來れるものにして今回の舊法幣の交換並に舊法幣を中央儲備銀行券に改變するに當りても日本側銀行及び商社を始め中國在留日本人は率先して協力し國民政府所期の目的達成を支援せんとするものなり

金融統制力飛躍的に強化

【南京三十一日發同盟】舊法幣の[illegible]及び[illegible]の[illegible]は事變[illegible]今や[illegible]國民政府財政部では[illegible]三月[illegible]に依る[illegible]

[illegible]を停止し更に五月二十八日に至り蘇、浙、皖三省及び南京、上海兩市における[illegible]舊法幣の法貨性は[illegible]六月八日より[illegible]一週間に[illegible]

[illegible]の具體的方法については三十一日[illegible]法を公布、八日より實施す[illegible]その方法は[illegible]一萬元以上の[illegible]中央儲備銀行又は[illegible]せしめ[illegible]二對一の比率で儲備券に換算した上、その半額は金融安定公債を交付し[illegible]は儲備銀行に預金せしむることとなつた、而して右公債發行の方法並に條件については今回公布された民國三十一年金融安定公債條例に明示されてゐる

[illegible]中國銀行及び交通銀行の三銀行券（二十九年[illegible]以降のものを含む）であり又五角以下の補助券は[illegible]して流通せしむることに[illegible]國民政府今回の全面交換の[illegible]は急速に推進され近い將來儲備券一色化に依る金融並に物價安定が期待されると共に儲備銀行を通ずる金融統制力は飛躍的に強化され通貨に依る日華提携に一段と緊密化することとなつた

整理事務開始

【上海三十一日發同盟】中央儲備銀行では國民政府の通貨統一政策に策應して舊法幣の[illegible]に從ふべく政府の命に依り同行內に[illegible]委員會の設立を準備中であつたが三十一日正式成立し即日[illegible]を開始、各銀行、[illegible]關係者に對し[illegible]辦法を通達した、而して同委員會の內部組織は計畫、出納、會計、事務の四部に分れ[illegible]氏が首席委員となりその下に委員十名が置かれてゐる

ボルネオ復舊進捗
統治組織案も成案、實施へ

【ボルネオ○○三十一日發同盟】ボルネオ派遣部隊指揮官前田中將は去る五月五日[illegible]以來北部及び西部ボルネオの[illegible]を[illegible]、或ひはこれが綜合的建設の具體的プランを固めつつあるが、治安狀況は頗る良好、原住民は總て復歸して敵の破壞せる諸施設の復舊は着々と進捗しつつある、就中ミリ、セリヤの油田の如きは當初の豫定を遙かにこえて早くも活潑なる活動を見せてをり木材工廠、マッチ工場などの如きも操業を開始どし製品を送り出しつつある、[illegible]題となるのはボルネオ統治の組織の複雜さであつてサンダカンを首都とする舊北ボルネオ、サルタンを酋長（王族）とするサラワク王國、ブルネイ保護王國、ラデヤ王國、それに蘭領西部ボルネオに西部三直轄州に分れ四州には四十王とその下に一、二王族があるといふ有樣で、これらがそれぞれ[illegible]を設けて恰も封建組織を更に複雜化した形態を採つてゐる、これを打つて一丸とする新生ボルネオの統治組織案は既に成案を得て實施に移すのみとなつてゐるが、[illegible]は英人、蘭人が一際に姿を消して以後はその後が空位となつて支那人、マレー人その他原住民の下級官吏が軍指導の下に暫定的に事務を處理してゐるのみである、從つて英人、蘭人に代つてこの政治、經濟、文化の各部門を指導すべき日本の專門家の到着は久しく待望されてゐたが二十七日各司政長官以下第一次五百數十名の[illegible]が到着、北はサンダカン、タワオより南はポンチヤナックに至る各地に分散して近く各々の部所につく筈である

ビルマ交通路整備
鐵路殆ど完全に蘇る

【ビルマ○○前線三十日發同盟】わが鐵道部隊工兵隊の活躍によりビルマ本線の開通成り三十日正午[illegible]な開通式を擧行したが、ビルマ派遣軍では右に關し左の如き談話を發表した

近代戰において交通路の確保整備は軍の戰略上缺くべからざるものである、ビルマ作戰においてもこの原則に周到に實行され交通路の急速なる整備により[illegible]の機動力は最大限に發揮され、各作戰の進捗を早め作戰を大成功に導いた一の原因となつたのである、しかし本作戰においてはこの交通路の整備は[illegible]が少數であつたため非常な困難に直面してゐたが、工兵隊、鐵道隊の血みどろな苦心と住民の協力で驚くべき修理スピードを擧げてゐた、工兵隊はイニ、モールメン間百二十粁の鐵道復舊は最初僅か[illegible]長以下七名だけで敢行されたものであり、ラヘン、メソト間の道路橋梁は全山岩石の最難工事であつたが、少數の工兵隊の手で共同工事のタイ人を泣かせる快速度を示してゐた

ビルマ北部作戰においてもラングーン、マンダレー、ラシオ間の道路及び鐵道は去る二十三日完成した、シーポート鐵橋及びミンゲ鐵橋の完成により半永久的に復舊し、同鐵橋の破壞橋梁十四ケ所延長○粁の修理がわづか一ケ月たらずで完了されてゐる、[illegible]にビルマ全土の鐵道延長三千三百粁中二千八百八粁が完全に蘇つたのである、車輛もビルマ所有車輛の三分の一が既に運轉してゐる狀態である、船舶もイラワジ汽船會社の所有船は[illegible]で沈められたりしたがイラワジ上陸、カーサ、バーモ附近で大小百餘隻を鹵獲し直ちに使用し得る狀態にある、今後軍は交通[illegible]の交通狀態を復舊せしむべく最大の努力を拂ひ民衆[illegible]、資源獲得に便ならしめる覺悟である

[illegible]多數、[illegible]等の施設破壞數は十八に上つてゐる

殘敵を捕捉殲滅
曲嶺上と河北溝で

【晉南○○三十一日發同盟】[illegible]の二大據點に據る敵主力並に兵器生產施設を徹底的に殲滅したわが精鋭諸部隊は二十九日夜半以來傷つく敵兵を[illegible]沿岸と[illegible]ながら[illegible]を[illegible]、二十九日[illegible]垣曲東方二粁の河北溝を[illegible]敵主力に集中砲火を浴せ猛烈なる白兵戰を敢行、遂に袋の鼠と化した敵の命脈は既に旦夕に迫るに至つた、三十日までに判明した綜合戰果は次の通り

遺棄死體六六二、捕虜五一五、[illegible]、[illegible]、迫擊砲[illegible]、小銃九八五、地雷七九一、手榴彈三、二二六、無線機一、その他兵器彈藥[illegible]

ハリコフ大戰鬪終了
獨軍、赤軍將兵廿四萬を捕虜とす

【ベルリン三十日發同盟】獨軍司令部特別發表

一、ハリコフ附近の大殲滅戰は既に終了した

一、獨軍は[illegible]師團二十、騎兵師團七、戰車旅團十四より成る赤軍第六、第九、第五十七軍を[illegible]、赤軍將兵二十四萬を捕虜とした

一、鹵獲又は破壞せる[illegible]

[illegible]

獨軍發表戰況 【ベルリン三十日發同盟】獨軍司令部三十日發表

東部戰線 一、既に特別發表で明かにした如くハリコフ戰は完全に終了した

一、中部戰線では[illegible]包圍殲滅戰が進捗中であり、又レニングラード戰線では[illegible]

一、獨空軍はゴルキー市の[illegible]に夜間爆擊を加へ[illegible]火災を生ぜしめた

北氷洋戰線 一、[illegible]

英國戰線 一、三十日夜獨空軍はイングランド東岸ハーバー河口、グリムスビー港並にグレート・ヤーマスの港灣施設を爆擊した

又大型貨物船一隻を炎上せしめた

一、[illegible]

キレナイカに激戰

【ローマ三十日發同盟】伊軍司令部三十日發表

一、キレナイカ戰線の[illegible]

東條首相新居濱へ

【[illegible]發同盟】三十日午後[illegible]する初夏の瀬戸路に初の第一步を印した東條首相は高松における日程を濟ませ、午後三時四十八分自動車を連ねて[illegible]に到り護國の英靈を懇ろに弔つたが、沿道には町內有志、軍人遺家族等多數出迎へ首相は特に整列の遺家族に對し一々「お淋しいですか子供さんを立派に育てて下さい」と優しく其の子供の頭を撫で勞つた、[illegible]て午後四時五分再び車中の人となり、司令部に入り永見師團長から管下の狀況を、水原兵務課長から[illegible]狀況の說明を受け、部隊に一場の訓辭を與へて少憩午後五時二十五分司令部發[illegible]列車で新居濱に向つた

佛領事館事務をカナダ停止

【リスボン三十日發同盟】APオッタワ電によればカナダ外務省は三十日カナダの全フランス領事館に五月三十一日限り事務を停止するやう命令することとなつた旨カナダ駐在フランス公使ルネ・リストリエーブル氏より通報を受けたと發表した

坪上大使雁ノ巢着

【福岡發同盟】本省との連絡打合せを了し歸任の途についた坪上駐泰大使は三十一日午前十時二十分雁ノ巢飛行場に到着した、一日朝出發歸任の豫定である、同大使は日泰兩國の關係は益々緊密を加へるばかりだ、文化の興隆にも大いに力を入れなければならぬ問題である、殊に相互の留學生交換は今後大いに考へられ實行さるべきであらう

對樞軸宣戰案
墨國上院可決

【リスボン三十日發同盟】UPメキシコ來電によればメキシコ上院は下院より送付された對樞軸宣戰布告案を三十日滿場一致可決した

墨國參戰前夜の緊張

【ブエノスアイレス三十日發同盟】メキシコ來電によれば樞軸諸國に對する宣戰布告案が二十九日下院において百八名滿場一致を以つて可決するや愈々メキシコは參戰前夜の[illegible]を來すに至つたが、參戰後の事態に備へるため緊急招集を受けた各州知事も目下續々メキシコ市に到着、各地軍司令官を交へ近く國防強化を中心とする緊急會議が開かれる豫定である、同會議では十八歲から二十一歲までの全男子の臨時兵役制度の實施、飛行場十二ケ所の新設を始め沿岸地帶防備強化などの諸問題が協議されるといはれ、沿岸地帶の樞軸國人は續々內部地方へ強制移住を命ぜられてゐる

人事

▲竹木弘氏（內閣[illegible]）[illegible] ▲竹田[illegible]郎氏（[illegible]）三十一日來北（吉香）

▲井上一夫氏（[illegible]）外二名三十一日來北（鐵道ホテル）

▲山岸久二氏（アルコール[illegible]）三十一日來北（鐵道ホテル）

▲千葉八起氏（[illegible]）三十一日來北（鐵道ホテル）

▲荒木一夫氏（[illegible]）三十一日內地より歸來（[illegible]）

▲廣谷花蓮港廳長 出府中の所三十一日歸任

▲鈴木政一氏（[illegible]）三十日來北（吉香）

第三回戰時
貯蓄債券　一枚 二十円 十四円 五円
報國債券　一枚 十円 五円
賣出 六月一日 七月十日
大藏省 遞信省 日本勸業銀行
大東亞戰爭感謝貯蓄

ぜんそくに
頓服で效く
本劑は二種の特殊な藥劑より抽出せる高貴藥にして一はその痙攣を止め一はタンを溶解する作用がある。又補佐藥としてヂギタリスやカンフル劑を合理的に配合してあるから、困つた喘息發作の人に最もよい。しかも中毒や習慣性がない
定價 一圓、三圓、五圓
東京市下谷區[illegible]
本舖 柴崎製藥所
全國藥店にて販賣す
ひろ喘息藥

オール讀物
六月號 定價五十錢（送料三錢） 文藝春秋社
南方戰線に挺身する海軍報道班員が感激の筆に綴る現地報告
アンボン島攻略 村上元三
捕虜の見たわが潛艦 山岡莊八
五月廿七日海軍記念日を迎へて！ 大東亞戰下日本海海戰の追憶・座談會 祝勝會の思ひ出・[illegible] 日露戰役の回顧・市[illegible] 大戰果と日本刀・中山博道
支那秘史 若き西太后 片岡鐵兵
現代小說 男の像 棟田博
錢形平次 佛師の娘 野村胡堂
現代小說 つるべの曲 長谷川幸延
新人傑作 天の產聲 山田克郎
明治讀本 山川健次郎 菊池寛
特別讀物 海軍兵學校 林芙美子 ▽科學の頁△
晴れた伊豆の日 眞杉靜枝 ▽當選短篇△
軍用パンは何故硬い 川島四郎 ▽將棋講座△
南方病講義 志村[illegible] ▽圍碁講座△ ▽特選漫畫△
喇叭 中野實
横顏 大佛次郎

新青年 6月號
特別附錄 沈沒イギリス「巡洋戰艦」レパルス號斷面全圖（我が海鷲の威力に粉碎した東洋艦隊[illegible]）
★大東亞戰爭と防諜 陸軍中佐 大坪義勢
★北洋の護り 海軍大佐 大宅由耿
★石油の凱歌 陸軍中尉 小山亮清
★驚異の皇化首都 海軍報道班員 海野十三
★比島戰線畫譜 陸軍報道班員 鈴木榮二郎
マレー作戰祕錄 わが電擊作戰
現代小說 龍馬異聞 木々高太郎
相撲小說 花道 笠置山勝一
百年病院 大東亞座 大下宇陀兒
大洋小說 砲聲 守友恒
現代小說 慰問文 橫溝正史
征戰小說 小出機自爆 長井壽助
時代小說 戰國の男 鳴山草平
現代小說 螢合戰 河內仙介
★不思議な密航者 インド洋探檢記 カルピオ
★首狩部落 ニューギニヤ探檢記 H・クロス
讀切中篇 密林の醫師 渡邊啓助
ドイツ宣傳中隊員手記 ★★★ [illegible]………（北阿戰線） [illegible]………（蘇領戰線） [illegible]………（東部戰線）
價八十錢 送料三錢 東京市日本橋 博文館 振替東京二四〇

理學博士 湯淺明著
科學人の世界（最新刊） 價二・二〇 送・一二
科學する人々へ！ 若き科學者の胸に擴がる輝くも美しき世界！
科學者の夢……科學には國境がない……發明發見の苦闘……メンデルに捧げし敬意……[illegible]者の力……科學の系統化……科學に埋れる……ロマン・ローランの言葉……科學者の[illegible]……[illegible]……明朗に……平和に……小から大へ……
湯淺博士著
細胞學 價九・〇〇 送・六〇
生物學總論 價六・〇〇 送・八〇
生物學新叢（一） 價一・五〇 送・一二
生物學新叢（二） 價一・七〇 送・一二
生物學研究の一展望 價一・三〇 送・一二
生とは何か 價一・五〇 送・一二
性の決定 價二・五〇 送・一五
清水幾太郎著 青年の世界 價一・[illegible] 送・[illegible]
植田清次著 經驗的世界 價三・[illegible] 送・[illegible]
佐藤慶二著 新時代の世界觀 價一・八〇 送・[illegible]
同文館 東京・小石川・水道端 振替東京二三五

南支にも儲備券を

軍票、舊法幣との條件は中支同樣

南支軍當局談

【廣東三十日發同盟】儲備銀行廣東分行は不日開業の運びとなり南支において儲備券を流通せしめるに決定したがこれに伴ひ軍票對新法幣相場を中支同樣十八圓と定め軍票新法幣の兩建を以て通用せしめ、更に近く一對二の比率を以て新舊法幣の交換を實施することになつた、右に關し南支軍では三十日午後二時左の如き聲明を發表した

大東亞戰爭を契機として舊法幣が崩落の一途を辿りつつある[illegible]その經濟力の衰微を來せる今日として當然の歸結といふべきである、中支においては夙に儲備銀行券を以て[illegible]流通擴充を圖りつつあるが本月二十二日より軍票對新法幣相場を十八圓と決定し日華協力しこれが維持を圖ることになつた、又和平地區民衆のため適度の經濟秩序と社會不安を回避する方針の下に新舊法幣の全面交換を實施せらるる筈でその交換比率を一對二と定められてゐる、南支においても近く儲備銀行支店が開設せらるる運びとなり中支同樣新法幣の流通が決定せられ軍票對新法幣相場も十八圓にて軍票新法幣の兩建を以て通用せらるることとなり近々新舊法幣との全面的交換を實施せらるる筈である、從つて今までの舊法幣の急落による金融上の不安も一掃せらるることとなるであらうが新法幣に全幅の信頼を置き日華協力してこれが育成を圖ることが肝要である

軍票、儲券の二本建

金融市場も安定せん

【廣東三十日發同盟】南支における儲備券の發行は三十日の南支軍聲明發表をもつて正式決定したがこれに伴ひ昭和十三年廣東入城後三年有半に亙り軍票と共に南支一圓に流通した舊法幣は漸次儲備券に代位されることとなりここに未曾有の混亂に終止符を[illegible]に南支和平地區における通貨制度の第一歩となり[illegible]今後南支金融市場は軍票儲備券の二本建をもつて進むこととなつたがその意義は[illegible]今回の儲備券出現に伴ふ南支金融市場今後の[illegible]次の如きものが見られる

一、從來軍票、舊法幣の二本建であつた[illegible]は軍票、儲備券の二本建に代ることとなる

二、從つて底なしの崩落を續けつつあつた舊法幣に代つて通用力を有する儲備券は軍票と共に安定せる購買力を付與される[illegible]

三、舊法幣の先行に暗澹たる不安を抱いてゐた市場は新法幣を頼る好感をもつて迎へ一般民衆に對し新法幣の信頼と安定感を與へることとなるであらう

貨物積下賃等

六月一日より引上

臺灣運送業組合が[illegible]臺灣[illegible]中の貨物積下作業賃は二十九日附を以て認可されと同時に小運送業者の取扱料金並に集配、手數料、積下、入出庫、保管等諸料金も全面的に二割五分方引上げ何れも六月一日より實施される筈

また作業手の賃金は從來一人當り一日平均一圓六十七錢より[illegible]三割六分の引上となり[illegible]となつた、この結果[illegible]

新債券賣出し

一等割增金は四千圓

【東京發同盟】貯蓄債券の一部を債券で支給する制度が今夏からぐつと强化されるので勸銀では來る六月一日から第三回貯蓄債券九千五百萬圓と報國債券四千五百萬圓合計一億四千萬圓を全國一齊に賣出す、貯蓄、報國債券とも今までの五圓、十圓の外に今回は始めて貯蓄債券に年四月、十月の二回で一等四千圓と二千圓以下三等まで、報國債券は年一回、十月で[illegible]二十圓、賣出し二十圓の新券が發行されるがこの新券の割增金は十圓券の二倍でその他の條件は十圓券、五圓券と變らない、抽[illegible]一等一萬圓と五千圓以下三等までである

皇軍勇士を犒ふ北部ビルマの婦人達

南方資源輸送敏活化

關係官廳の方策決る

[illegible]大東亞戰爭完遂の見地から緊急なる南方資源の國內輸入を促進し戰時下必需物資の生産擴充に資すべくこれが具體的方策に就いては企畫院、陸軍、海軍、外務、大藏の各省並に民間各關係業者の間に於て慎重協議中であつたが、この程大綱次の如き方法により輸送の敏活化を期することになつた、即ち現地においては物資は邦人たる集荷人、又は關係業者の手から直接納入人に賣られ、納入人は現地軍當局との[illegible]

産組中央會總會

【東京電話】産業組合中央會第三十三回通常總會は卅一日午前十時より丸の內産組中央會館に開催[illegible]

選炭强化に

炭質向上確保を目差し

【東京電話】[illegible]石炭の增産に最も緊要な[illegible]とされ[illegible]で石炭增産期間を設定[illegible]

當局談（要旨）

大東亞戰下國を擧げて生産力の擴充を要するの秋炭質を向上し優良炭の增大に努め[illegible]この意味において來る六月一日より七月末日まで選炭强化週間が實施せらるることとは現下最も適切の措置と信ずる、從つて炭礦當事者は勿論關係各方面は本運動の趣旨を諒し熱意ある協力を寄せられたい、消費者も生産者に協力しこの機會に石炭の認識を深めると共に石炭の有效利用に特別の努力を拂はれたいと思ふ

農山漁村子弟教育

修錬農場長會議

【東京電話】農林省では時局下農山漁村子弟の訓育に當る修錬農場[illegible]

聖戰完遂に貢獻

香港と九龍の船渠復舊

遞信部大崎技師視察談

[illegible]香港に派遣されて[illegible]港灣施設の視察に當つてゐた遞信部大崎技師はこの程歸臺、香港の近況を左の如く語つた

從來英國の香港に於ける造船業は英資本によるもの[illegible]三、中間資本によるもの[illegible]

[illegible]今では大東亞建設に與かるべく早くも仕事を開始してをり、何れも占領直後から復舊に努めてゐる、九龍ドックは[illegible]ドックを始めとして[illegible]

府縣連絡部の構成

【東京電話】府縣と町村との中間にあつて企畫物資、生活必需品物資の配給、軍人援護並に扶助などの時局事務を擔任する府縣連絡部（假稱）は愈々來る七月一日より全國六百二十一ヶ所中四百四、五十ヶ所に一齊に設置の豫定で內務省では着々これが準備を進めてをり[illegible]

基隆 高雄 港灣運送業機構

全面的に改組を決定

[illegible]基隆、高雄兩港の港灣運送業者[illegible]

一、港灣荷役[illegible]

二、船內荷役[illegible]

三、港灣荷役設備[illegible]

四、港灣勞務[illegible]

業態組合を傘下に

基隆運送業會本年度事業計畫

【基隆電話】基隆港灣運送業會第一回通常總會は二十九日午後三時から[illegible]

大東亞金融圈建設

南方金融政策の發展（上）

[illegible]

國際決濟

[illegible]

現地通貨工作の發展

[illegible]

軍用手票

[illegible]

等價協定

[illegible]

現地金融機關の再建

[illegible]

敵性通貨

[illegible]

現地業務

[illegible]

棉の優良育成種

南農育一號現はる

三浦臺南州農試場長談

[illegible]チャブアメリカン三號（印度ペンジャブ地方の米國棉型棉種に屬するもの）の中から飛び[illegible]

戸税一圓に卅圓

島都臺北の貯蓄目標額

[illegible]

ブタノール增産

南方糖を原料として採取

【東京本社特電】[illegible]

臺南州の二期米作

【臺南電話】臺南州昭和十七年度第二期米の生産計畫は前年同期と變らぬが本期より甲當り收量目標を[illegible]

ソ聯側新兵器は失敗

自動機關銃と携雷犬

【ベルリン二十九日發同盟】ハリコフ戰線では獨ソ兩軍とも夫々その智能を傾けて造り出した新兵器を使用し殊に獨軍の新戰車砲用大口徑高射砲は恐るべき威力を發揮してゐるが赤軍も赤四連の銃身を有する自動機關銃及び携雷犬、即ち爆彈を背負つて敵陣地へ突入する訓練された軍用犬などを始めて使用してゐることが獨軍に捕はれた赤軍兵士の自白によつて明かにされ、捕虜の言によると右四連式自動機關銃は一分間五千發を發射すると稱せられたが實戰で使用して見るとそれだけの能力がない上にすぐ故障を起しソ聯軍はこの機關銃を放棄したトラックを遺棄して敗走した、また携雷犬といふのは主として暗夜に紛れ敵陣へ潜入し獨軍の下や砲陣地などへ忍び込み一擧にこれを爆破させる仕組でソ聯軍は八百匹以上の携雷犬を使つて獨軍の陣地を突破しようとしたのであるが獨軍の銃火に怯えた犬が逃げ廻つて來るため失敗に終つた、その上逃げ廻つた犬がソ聯兵にじやれつくためかへつて味方陣地で爆發して多數の死傷者を出すといふ始末である

南大川の通水が見送りになつたため[illegible]

島內現株相場

株	拂込	中値
臺銀株	一〇〇・〇	一一八・三
同新	一〇〇・〇	一一七・〇
彰銀	五〇・〇	九三・六
同新	一二・五	一二七・四
三和銀	五〇・〇	七三・五
同新	二五・〇	三五・七
同二新	一二・五	一八・七
商工銀	五〇・〇	五〇・〇
同新	三七・五	三七・五
同二新	一二・五	一二・七
彰化銀	五〇・〇	四八・五
同新	二五・〇	二三・五
華南銀	三七・五	二七・〇
[illegible]	一二・五	一七・二
大東信託	一二・五	一三・五
開發信託	一二・五	一一・五
臺灣建物	五〇・〇	四六・五
打狗土地	一五・〇	七三・〇
高雄地所	二〇・〇	二五・〇
臺灣電力	五〇・〇	六四・二
同新	三七・五	四九・二
化成工業	五〇・〇	三六・〇
畜産興業	二五・〇	一九・五
昭和家畜	一二・五	一三・〇
日本鑛業	五〇・〇	五八・七
同新	一二・五	一九・〇
日本石油	五〇・〇	七八・六
同新	一二・五	三七・二
日本アルミ	五〇・〇	八八・〇
同新	三七・五	七三・〇
東邦金屬	四〇・〇	四五・〇
日東化學	四二・五	四一・〇
東部電氣	三〇・〇	三一・七
同新	一二・五	一三・〇
大正製油	一五・〇	一二・〇
大成火災	一二・五	一二・五
合同鳳梨	五〇・〇	四六・五
臺灣畜産	一二・五	一三・五
臺灣纖維	五〇・〇	五二・〇
臺灣鐵工	五〇・〇	六〇・五
同新	二五・〇	六〇・〇
臺灣電化	二五・〇	三〇・〇
臺灣瓦斯	二五・〇	二三・五
臺灣煉瓦	二五・〇	三五・〇
臺南製鹽	二五・〇	三六・〇

星規那産業總會

星規那産業會社は五月三十日臺北[illegible]において第四回總會を開催報告承認事項の外

一、本店を臺北市[illegible]より臺北市[illegible]に置く事

一、取締役全員改選したる結果日下辰太、山田拍採、房城弘、大林實治氏四名は重任、前田稔氏新任、尚代表取締役社長は日下辰太氏に決定

一、監査役一名缺員に依る補缺選任には石坂正吉氏を選任

空の花嫁　長田幹彦著　B6判三六〇頁　一圓八十錢

かみなり旗本　下村悦夫著　B6　一圓八十錢

左一平捕物帳　濱野正見著　B6　一圓八十錢

富士捕物帳　陣爪彦七著　B6　一圓八十錢

殘されたもの　武田賴太郎著　B6　一圓八十錢

御一新　濱本浩著　B6　一圓八十錢

武門血笑記　下村悦夫著　B6　二圓

奧川書房

生活社

安南の一族

老撾遊記

B6

東京神田須田町二

ジャン・マルケ著

小松清・大島宗太郎譯

パピリオクレーム

クレーム三種

A 普通ベニシングの方に（男子兼用）

B 荒れ性の方に

C ファウンデーションクリーム

（試適送呈）

胃腸に

エルビオゲン錠

エルビオゲン錠はビタミンB1・B2・D、牛肝エキス、活性乳酸カルシウム、正燐酸カルシウム、消化酵素等を配合す。

故に衰弱せる胃腸に活力を與へ、便通を整へ、榮養を良くし、疲勞の恢復に著效あり。

150錠 ￥1.80　500錠 ￥3.70

東京・蒲田　ライオン製藥株式會社

あしの衛生藥

ぐらへんで

汗ばむ　べとつく　あぶら足や　水虫に惱む時季……水虫は一種の黴生菌でむれた靴や　汚れた靴下に繁殖する……

毎日　靴をはく前や　湯上り後に……藥用香粉を足にふりかけて　足の衛生を忘れぬこと……

きづ　水虫　あぶら足　たゞれ

一圓二十錢

酵素力こそ生命の根本

イーストの鍵は病弱體を解放す

最近、或る篤學者の發表に依ると、動物體でも人體でも、その生命力の根本は、その生體に分泌し依存される〝酵素力〟であるといふ。但し、單なる澱粉糖化の酵素力等のみを指すのではなく、生體の發育、その他の生理現象を司さどる酵素力を意味する。

微生物の一種であるイースト菌なるものがある。右を服用すると、澱粉蛋白を消化し分解する酵素力は充分に發揮されるが、それ以外に色々なる酵素が人體に働らきかけ人體の生理機能を旺盛にする。

人體でも他の動物體でも全身の機能が活潑になると、ドコかに障害「病氣病弱」が潜伏してゐても、それは次第次第に自然治癒能力に打ち負けて回復を告げて來る。だからイーストは肺患肋膜の人、胃腸病者に絶好である。二圓五圓で藥店にあり

靖臺宮殿下の

御偉德を偲び奉る

きのふ 澳底で御上陸記念祭執行

六百萬島民が崇敬の宮として仰ぎ奉る北白川宮能久親王殿下が澳底の海濱に御上陸遊ばされ臺灣に第一歩を印せられた意義深い記念日の五月卅一日午前十時半から御上陸記念碑前で川本台北州知事が祭典委員長となり神式により嚴肅な御上陸記念祭が執り行はれた、この日、[illegible]軍參謀長、大須賀海軍武官、知事代理稻田總務部長、[illegible]始め地元官民多數參列、式は修祓に始まり降神、獻饌、祝詞奏上、川本祭典委員長の祭詞朗讀、參列諸員の玉串奉奠あつて澳底國民學校兒童の「北白川宮能久親王」の唱歌の奉唱、終つて撤饌、昇神の諸儀の後川本祭典委員長の挨拶あつて閉式、午後一時より壯丁團と基隆郡下[illegible]相撲などの催しが行はれ、また附近部落民[illegible]終日賑ひ一同宮樣の御遺德を偲び奉つた

總裁宮殿下の令旨を傳達

大日本婦人會 初の事務主任者會議

【東京發同盟】畏くも東久邇宮妃殿下を總裁に奉戴して[illegible]大日本婦人會では三十一日午前九時から九段軍人會館に初の事務主任者會議を開催、山内會長を始め全國地方支部、五外地本部の婦人會員及び事務主任者三百五十名出席、內務、厚生、陸軍、海軍、文部、[illegible]各省及び軍事保護院係官出席、まづ山内會長は總裁宮殿下より賜はりたる令旨を一同に傳達した後[illegible]事務打合せに移り[illegible]、[illegible]文化各部長より支部組織の確立、非常措置、指導員錬成、軍事援護、軍人援護、國民貯金、家庭教育等と實務部面及び今後の活動上必要なる事項について指示を行つたが特に總裁宮殿下奉戴の光榮と感激を永久に記念するため近く「必勝國民貯蓄組合」を大日本婦人會の各班單位に結成し大東亞戰完遂の後援の下に全國二千萬會員を動員して貯蓄報國に努力することになり組合員一人當りの貯金月額を月五十錢として每月一千萬圓以上の貯金實行に邁進する計畫を諮り全員異議なく承認して午後四時閉會した

科學日本に世紀の凱歌

轟音・海底の"門"開く

苦闘五年の偉業成る

關門隧道開通

【門司發同盟】[illegible]門海底の[illegible]を貫通する工費一千七百萬圓[illegible]計畫の關門隧道は三十一日湯澤內相を現場に迎へて貫通式を擧行した、この朝門司側坑道の一部は[illegible]の薄さに切り拔けて[illegible]て內相の前途に[illegible]貫通式を[illegible]

湯澤內相處女踏破

隧道戰士の貴き苦闘に唯感激

[illegible]坑道の岩壁を照らし出す、間もなく工事の總指揮者[illegible]所長加藤技師の合圖で內相の右腕が力強く鑿を振ると[illegible]岩壁の如き轟音が地底を搖るがし[illegible]一米の岩壁は見事吹き飛んだ、時に午前十時一分內相の至鑿で[illegible]高らかに萬歲を絶叫した、かくて貫通式を[illegible]り午前十一時三十分[illegible]內相を先頭に一同[illegible]初めをなし正午過ぎ下關側に出た、引續き午後一時より下關側[illegible]貫通式を擧げ內相の祝辭あり午後四時式典を終了した

土木出張所長等の[illegible]を[illegible]、[illegible]內相は[illegible]坑道を[illegible]した、日本[illegible]史上嘗つてなかつた大臣の初巡りである、[illegible]勞働へた內相は[illegible]門司側、[illegible]先導され加藤[illegible]所長、[illegible]工人達は麥飯の[illegible]を食べたが[illegible]救助されるのを待つたと加藤所長の說明に內相は默々と聞き入つてゐる、坑內は水蒸氣が立罩め內相の眼鏡も曇り湧水に[illegible]も濡れて[illegible]る「隧道戰士の苦闘の跡が初めて判つたよ本當に苦勞も並大抵ではあるまい」と內相は[illegible]してしみじみと語つてゐる、この[illegible]なのである、並居る一行や隧道戰士の面上には只唯感激に輝いてゐる、その戰士達に「御苦勞でした」と心を罩めて頭を下げて步く加藤所長もポロポロ涙を流してゐる、下

世界最新の海底隧道

[illegible]三十一日貫通した關門隧道[illegible]は今後坑の全斷面切り擴げ作業及び[illegible]を[illegible]昭和二十年度には竣工する豫定だが完成の上は二條の隧道となり上を[illegible]して[illegible]が[illegible]し巨大な五つの[illegible]を[illegible]せしめや、特に[illegible]には自動車[illegible]、[illegible]內に[illegible]世界最新の[illegible]道路にも[illegible]ては世界最初のものである

六段跳び坂口兵團

（○○陸軍少佐手記）

帝國陸軍部隊最初の赤道通過だ"萬歳"

（中）勇猛"强襲部隊"の奮戰

【東京發同盟】タラカンは蘭印のオランダ軍との最初の戰場である、第一次上陸部隊は二十キロの所から一月十一日夜中に上陸を敢行したが、時山宗五郎といふタラカン在住二十年の人を案內役として[illegible]の南端の方は海岸があり、海正面には[illegible]があつて非常に[illegible]であり、アマル河の

流域は物凄いジャングル になつてゐたが、土人の漁夫が[illegible]をしてゐる、また[illegible]でマングローブが一面に生えてゐるといふ情報を得た、そこで今までパラオで密林の[illegible]をしてジャングル突破に[illegible]があるといふ河流を遡つて敵の背後からタラカンを奇襲する、また一部を左翼部隊をもつて敵の南端の[illegible]を占領することになつた、さて[illegible]上陸の主力部隊は[illegible]を[illegible]海岸沿ひに南下して來た、この上陸[illegible]つたのは天佑とでもいふべきで敵も日本軍がこの方面から來るであらうといふので[illegible]トーチカでアマル河の[illegible]を[illegible]いてゐたが上陸[illegible]を[illegible]つたためにそのトーチカの裏に出ることになり全く損害も受けずにこのトーチカ陣地を取つてしまつた、もしこの方面にぶつかつてゐたならば必ず多大の損害が出たものと思はれる、ここで捕虜にした住民兵の[illegible]によつてこの住民は非常に[illegible]であるといふことが判りトーチカの所在などを一々指摘して吳れるので敵から不意に射たれることもなく、却つてこちらから射つて進むといふ調子で、いつも敵は機先を制せられて退却した、從つてアマル河流域のジャングル地帶一里を二三時間で突破してゐる、このジャングルを突破してタラカンの町の背後に迫つた時には[illegible]敵は爆破されたが、わが軍は[illegible]攻撃してたうとう十一日夕刻にタラカンのBPM製油所を占領した

夜に入つて夜襲を決行 してタラカンの兵營を占領した、その[illegible]明けて十二日の朝早く敵に降伏を呼びかけた、前方の左翼部隊は十一日の午後四時頃上陸して海岸沿ひに[illegible]した[illegible]林を[illegible]一時間といふ[illegible]た

い、そこで少數の兵力を海の方からも迂らうとしたが、海正面には敵が砲臺を[illegible]つて待ち構へてゐて[illegible]からは近づけない、[illegible]から行つて十二日にこの砲臺を占領した、[illegible]いて十四日にはコンチャレコールを[illegible]いでジヨワタまで占領した、右翼部隊の一部は道を間違つてジャングルの中に入つてしまつたので十五日朝まで四日間天日を見ず、[illegible]はかりの[illegible]を[illegible]つて進んでゐる途中敵を發見してやつつけた、オランダ軍は火力に非常に[illegible]してゐる[illegible]を先頭にやつて來るが、それらを片端からやつつけた、夜襲をするとその[illegible]は[illegible]りしたことがない[illegible]は非常に[illegible]しがる、[illegible]は二十名程るたが、タラカン方面ではオランダ人の[illegible]をうんとやつつけた、この戰鬪でオランダ軍は[illegible]から[illegible]すると非常に[illegible]いことが判つた、[illegible]へられたオランダ人の一大尉はラーンワン[illegible]を出して泣く、[illegible]大きな[illegible]で泣かれては日本軍の[illegible]するので困つたことがあつた、タラカンでびつくりしたのは油を[illegible]べて見ると今まで日本で見たこともない立派な[illegible]である、[illegible]べて見ると[illegible]の方にジャパニーズ・オイルと[illegible]してある[illegible]でこれが一番[illegible]い油なのだ、タラカンの油はいい油だとわれわれの[illegible]がつてゐたものは實は一番[illegible]の

ジャパニーズ・オイル を[illegible]つてゐた[illegible]た

この[illegible]田の[illegible]に[illegible]前から[illegible]にやつてゐたが、[illegible]以上に[illegible]かつたために[illegible]あり[illegible]く出る[illegible]になると思ふ、[illegible]山宗五郎といふ[illegible]の話である、[illegible]で[illegible]たので自分の[illegible]たいに[illegible]の[illegible]を[illegible]してゐる、油井に火事が起つたのは十日の夕方で、タラカン[illegible]にも[illegible]が空を[illegible]がしてゐるのが見える、[illegible]めてゐたので三十キロの[illegible]から見ると[illegible]から火の上つてゐる[illegible]である、第一[illegible]からタラカン[illegible]ルをタラカンと[illegible]して[illegible]たので[illegible]

指揮官以下鏖殺にするぞ [illegible]

の中から頭を上げ[illegible]とすると「[illegible]」といつて兵隊から頭を押へつけられる、ここで[illegible]けは[illegible]が[illegible]らないといふのでたうとう兵隊から頭を押へられ通しで上陸するまで[illegible]から頭を出すことが出來ず上つて見たら間違つてゐた、そこで腹を切つても追つかないといつて非常に[illegible]してゐた、タラカンに進んで行つてからは今度こそお役に立たなくてはならぬと第一線に行つて[illegible]の來る中を[illegible]つて司令官の[illegible]を[illegible]べて[illegible]して勇敢に[illegible]わが攻撃を[illegible]に有利にした、上陸後三日位經つてからは敵の飛行機は來なくなつた、タラカン[illegible]ボルネオは[illegible]が多いと聞いてゐたが、ジャングルの中を通つても蛇一匹も見ないといふ有樣で、[illegible]とボルネオは[illegible]はない、一番[illegible]るのは[illegible]である、一箇月間ほどでバリックパパンにゐた住民[illegible]二人と捕虜のオランダ人の大尉一人を[illegible]つて「バリックパパンの[illegible]油工場を[illegible]したら「[illegible]かつたら[illegible]は今後日本軍で使つてやる」と言ふと目を[illegible]びつくりして「それは本當ですか」「本當だとも、しつかりやれ」と言つて[illegible]船にオランダ國旗を立てて行つたので途中オランダの飛行機が來て救ひ出さうと船の[illegible]に[illegible]つて來た、オランダ人二名は飛行機に乘せられてバリックパパンに[illegible]つて書類を[illegible]の司令官に[illegible]した、バリックパパンに[illegible]十八日から[illegible]始めて[illegible]が上陸した二十日には[illegible]、三人の[illegible]はスンボヂャで[illegible]の[illegible]を[illegible]バリックパパンが[illegible]攻撃に[illegible]方の部隊を[illegible]、[illegible]

虎穴に入らずんば虎兒を [illegible]

[illegible]してゐると言ふことである、更に住民[illegible]に[illegible]いて[illegible]が[illegible]してをり[illegible]の下は[illegible]してゐることを知つた、また[illegible]と言ふ[illegible]は[illegible]の[illegible]をやつてゐるタラカンに[illegible]べると[illegible]も[illegible]であると言つてゐるので[illegible]大小の[illegible]に[illegible]つて[illegible]を[illegible]行くのであるから敵に[illegible]つたら一[illegible]で沈められるかして[illegible]に出て敵を[illegible]せねばならんと[illegible]に決行することとなつた、[illegible]で船を[illegible]して[illegible]の色と同じやうに見せるためマングローブを[illegible]に[illegible]けて[illegible]に[illegible]られたら[illegible]を後ろに向けること、[illegible]は一千米[illegible]つて行くことにしてバリックパパン[illegible]の正面を通つた、また主力は[illegible]から夜中に上陸すると言ふ[illegible]を[illegible]てられた、二十日タラカンを出發、バリックパパン[illegible]に向つた海上は[illegible]かで油を流したやうだつた、マカッサル海峽を[illegible]る時だつた、夕陽[illegible]く西の方水平線に[illegible]した[illegible]上で「おーい[illegible]の上に[illegible]が見えるぞ」と[illegible]るものがある、[illegible]兵がどやどや甲板に上つて行つた、[illegible]赤道通過だ、日本陸軍部隊最初の赤道通過、萬歲だ、[illegible]どの船も萬歲の[illegible]が聞える、時に二十[illegible]日午後八時だ、[illegible]の萬歲を[illegible]士氣[illegible]び萬歲を[illegible]ひつつ南下を[illegible]けた二十四日[illegible]から[illegible]が入[illegible]、[illegible]一日中やつて來て[illegible]する、[illegible]を[illegible]けた[illegible]の[illegible]は[illegible]い水柱が上つて何も見えなくなつてしまふ、[illegible]しかし二十四日、二十五日、二十六日と[illegible]から[illegible]で[illegible]を受けた[illegible]は「空の[illegible]」で[illegible]八千米以上の[illegible]から[illegible]するのが[illegible]で中には大[illegible]にも[illegible]を[illegible]するものがあつた、坂口部隊の[illegible]「空の[illegible]」が[illegible]る[illegible]つて自分が[illegible]になつてゐる[illegible]主力に[illegible]りバリックパパンの[illegible]に[illegible]つた

鄉土の名譽を双肩に

御遺跡地巡り繼走大會擧行

炎熱冒して力走又力走

輝やく榮冠基隆郡團へ

大東亞戰下、[illegible]年の士氣を一段と[illegible]すると共に[illegible]六百萬島民を[illegible]して[illegible]の宮樣の御偉德を偲び奉り國民[illegible]の一助に資せんとする臺北州主催第二回州下御遺跡地巡り繼走大會は[illegible]澳底

御上陸 記念日たる五月卅一日午前[illegible]行された、思へば日清戰役の[illegible]はわが[illegible]となり、時の近衞師團長であらせられた北白川宮能久親王殿下には[illegible]くも[illegible]の御身を以て[illegible]ら[illegible]を[illegible]せられけふのスタート地點たるこの澳底に御上陸、ここに[illegible]の第一步を印し、三貂嶺の[illegible]を越え、基隆、汐止と[illegible]遊ばされて臺北に御入城遊ばされたのであるがこの由緒[illegible]

澳底海濱御上陸記念碑前を[illegible]した臺北州下三市九郡の繼走隊は部落民の打ちふる旗の波を縫つて力走また力走、[illegible]の御偉德を偲び奉りつつ[illegible]名にし負ふ三貂嶺の[illegible]を[illegible]の[illegible]コースも何のそのの若人の意氣と力でこれを克服し[illegible]の炎熱をついて双溪[illegible]三貂[illegible]と次々にリレーし、[illegible]を[illegible]しつつ、山を越え、野を越え更に[illegible]、汐止の[illegible]を[illegible]して[illegible]つ追はれつ[illegible]

[illegible]下の御上陸記念たる澳底[illegible]から臺北市公會堂前の[illegible]に至る御遺跡地巡り繼走大會が行はれた[illegible]、[illegible]一人[illegible]きものと[illegible]ければならない、この日御上陸記念碑前には早朝から[illegible]なる[illegible]に映えて太平洋から[illegible]く[illegible]の中を第一區間の選手十二名は[illegible]を[illegible]する[illegible]

さつと [illegible]高く[illegible]げた右手が[illegible]けて[illegible]に[illegible]た[illegible]の先頭に[illegible]より、[illegible]を先頭に押し立ててブラスバンドの演奏する「臺北州青年歌」とともに[illegible]の[illegible]に送られてホーム、[illegible]しく[illegible]し[illegible]前スタートラインに[illegible]し[illegible]の[illegible]を待つ、かくて午前八時[illegible]村田[illegible]の[illegible]あつて[illegible]スタートし、[illegible]、部落民、[illegible]の「しつかりやれ！」"頑張れ！"の[illegible]から[illegible]の[illegible]を浴びつつ次の中繼[illegible]を[illegible]し、[illegible]の名譽を[illegible]

[illegible]に[illegible]の名譽をかけて[illegible]天走りに走る、かくして午後三時バトンは汐止の[illegible]に[illegible]する選手に手交された[illegible]のコース走破にかかつたが[illegible]たる[illegible]の[illegible]として十二[illegible]の選手の[illegible]や[illegible]ゴール[illegible]めざしての力走はゴール間近に[illegible]、いよいよ[illegible]に[illegible]し午後四時二十分十二秒、[illegible]が[illegible]して[illegible]をかかげてゴールイン、[illegible]いて二分五十[illegible]して七星郡がゴールに[illegible]、このコースの第三位で[illegible]、四時[illegible]に[illegible]選手は[illegible]にあてた市公會堂

前の[illegible]て[illegible]の後のち、知事代理村田[illegible]、[illegible]、[illegible]て[illegible]を[illegible]、[illegible]日本青少年[illegible]し、[illegible]に大日本青少年團[illegible]より六百人の血をわきたたせた[illegible]その他[illegible]の[illegible]あつて[illegible]

御遺跡地に[illegible]し、[illegible]總裁[illegible]に[illegible]した

一着の所要時間 五時間廿四分卅秒

御遺跡地巡り繼走は全コース七區間の各市郡の記錄を持ち寄りトウタルを作製した結果左記の記錄を以て基隆郡が優勝した、前回の優勝[illegible]臺北市[illegible]は第二區間で選手が[illegible]く[illegible]、また第一區間では基隆市、海山郡、第四區間では[illegible]郡が夫々[illegible]した[illegible]區間の選手は[illegible]にもかかはらず[illegible]區間の選手は[illegible]まで[illegible]した[illegible]は[illegible]に値ひするものがあつて本大會の大きな[illegible]であつた

一、基隆郡　五時間二十四分三十秒

二、七星郡　五時間三十三分二十七秒

三、文山郡　五時間三十三分五十一秒

四、羅東郡　五時間五十二分五十秒

五、宜蘭郡　五時間五十六分十五秒

六、新莊郡　六時間十分十四秒

七、淡水郡　六時間二十五分二十九秒

八、宜蘭市　六時間四十分二十六秒

山本事務總長圍み座談會

あす宜蘭市支會で

【宜蘭電話】[illegible]宜蘭市支[illegible]木部事務總長を[illegible]の下に[illegible]を開催するが主として山本事務總長の[illegible]によつて今後の[illegible]を[illegible]ならしめやうといふのであるが、[illegible]宜蘭市支會では[illegible]の更新期でもあるので六月一日午後二時公會堂に於て開[illegible]

けふ第一回日獨交驩放送

【東京發同盟】日獨間の交驩放送は既に去る一月から開始されてゐるが今回日獨間にも週間ニュース交驩放送の話合ひが成立、六月一日その第一回交驩放送が行なはれることになつてゐる、日本からは午後四時[illegible]十五分から[illegible]ドイツからは午後七時五十分から十分間送られて來るが今後は[illegible]月曜日に[illegible]されることになつてゐる

臺北高商（柔）農專（劍）に凱歌

全臺灣高專武道大會

"全臺灣高專武道大會"は[illegible]道部主催の下に三十一日午前九時から臺北市武德殿に於て柔道、劍道を以て華々しく開催された、試合に先立ち[illegible]、神宮[illegible]、[illegible]國民[illegible]いて[illegible]長代理[illegible]官の挨拶[illegible]、[illegible]が行はれ次いで[illegible]士、[illegible]士の[illegible]があり[illegible]て試合が開始された、試合は[illegible]の[illegible]武道試合が次々と[illegible]臺大醫科、[illegible]、同[illegible]、臺北高商、臺南高工、臺北高校の選手により[illegible]され各校ともに力[illegible]を[illegible]したが[illegible]の[illegible]は臺北高商、[illegible]

△優勝校

（柔道）　臺北　高商

（劍道）　臺大　農專

△個人優勝

（柔道）一位　伊藤[illegible]三郎（臺北高校）　二位　三島　[illegible]夫（臺北高校）

（劍道）一位　高須　[illegible]（農專）　二位　樋口　[illegible]（[illegible]）　三位　高光　[illegible]（[illegible]）

飛沫をあげて眞摯敢闘

大學、高專水泳大會

臺北高商に凱歌

全臺灣大學、高等、專門學校水泳大會は三十一日午後一時より臺北市東門市營水泳場で開催された、參加各校の選手は[illegible]の[illegible]にかけ水しぶきをあげての[illegible]、[illegible]結局臺北高商が七十六點の大差で[illegible]を占めて再度優勝、[illegible]を授與され同四時半[illegible]した、成績は左の如し（[illegible]は水泳大會[illegible]）

△二百米[illegible]泳　1[illegible]北高商（杉本寛次、[illegible]、[illegible]）三分四十八秒八、2[illegible]

△四百米自由形　1川口不[illegible]男（高商）五分二十四秒八、2[illegible]（大[illegible]）3大[illegible]四郎（高商）

△百米自由形　1杉本寛次（高商）一分六秒八、2[illegible]（高商）3[illegible]（帝大）

△二百米平泳　1[illegible]（高商）三分十秒、2佐伯[illegible]（高校）3[illegible]

△百米背泳　1[illegible]原[illegible]郎（高商）一分十四秒二、2[illegible]（高商）3[illegible]（高商）

△二百米[illegible]泳　1臺北高商（川口不[illegible]男、[illegible]、杉本寛次、[illegible]）一分五十九秒六、2帝大豫科、3臺南高工

△各校得點順位

一、臺北高商　七十六點

二、帝大豫科　二十二點

三、臺北高校　二十一點

四、臺南高工　十六點

五、帝大　十一點

六、醫專　五點

七、農專　[illegible]點

榮冠臺北高商へ

大學高專野球決勝

第一回全臺灣大學高專野球大會決勝戰は[illegible]に[illegible]つた帝大、高

さあ送らう前線へ

雜誌、書籍 けふから取扱開始

南方戰線に雜誌書籍を送れます―赤道直下共榮圈建設の[illegible]を進める無數の[illegible]に一通でも多くの慰問文を送り慰問品を屆けたいのは[illegible]感謝の熱意であつたがこれら南部比島及び南方派遣軍部隊宛利用郵便の[illegible]、慰問小包物は今まで[illegible]部分で普通取扱の[illegible]雜誌や書籍かど[illegible]しどし南方戰線へ送られる[illegible]であった、從つて今後新に第一線の兵隊さんが[illegible]する雜誌[illegible]日本新聞雜誌等に限られてゐたが六月一日から取扱範圍を擴張[illegible]郵便物の[illegible]を取扱ふこととなる、小包は未だ取扱はれぬが[illegible]でも[illegible]中であるから近く[illegible]れることとならう、なほ南方派遣部隊に宛てた[illegible]便物には方面[illegible]ち[illegible]比島又は南方派遣[illegible]と[illegible]書し次に[illegible]を[illegible]記するやう注意されてゐる

ビルマ在留邦人への郵便物

書狀、葉書に限りけふから取扱

南方建設の歩みも早く比島、馬來東印度[illegible]方面在留[illegible]郵便物は既に取扱はれてゐるが去る[illegible]ビルマ[illegible]の[illegible]を受けて早くも六月一日よりビルマ在留邦人に[illegible]する[illegible]郵便物の取扱ひが開始されることになつた、これらビルマ在留邦人に[illegible]する郵便物は現地の野戰郵便局に[illegible]されるためその宛名には必ず『ラングーン野戰郵便局氣付』と[illegible]書し次に[illegible]人の住所氏名を[illegible]記せねばならない、なほ取扱ひの[illegible]は[illegible]で[illegible]便[illegible]、[illegible]は[illegible]、小包はまだ取扱はれない、[illegible]

全島碩式庭球選手權大會成績

[illegible]の[illegible]は三十一日午前十時二十分から帝大グランドで[illegible]高商[illegible]よく五點を[illegible]したのに[illegible]し帝大[illegible]なく[illegible]五點で高商が優勝した、[illegible]十一時三十三分

全島[illegible]庭球選手權大會決勝は三十一日午前十時から[illegible]コートで[illegible]、ダブルスは帝大[illegible]田、中山組、シングルは[illegible]千[illegible]君が夫々優勝した、成績左記の通り

ダブルス

[illegible]田　中山（帝大）　7―5　6―4　6―3　中澤　小野（[illegible]）

シングル

千[illegible]（[illegible]）　6―1　6―2　6―3　[illegible]

學生卓球大會

[illegible]卓球大會は三十一日帝大[illegible]で[illegible]されたが[illegible]、高[illegible]、[illegible]の三校優勝した、成績左の通り

第一部　[illegible]專　四―三　[illegible]專

第二部　高　[illegible]　一―一　[illegible]專

女子部　[illegible]　六―一　南一女

全臺灣學生弓道選手權大會

[illegible]道選手權大會は[illegible]主催により三十一日武德殿[illegible]道場で十八[illegible]選手九十二名参加の下に[illegible]されたが成績は次の如し

△男子團體（四十八射中）一等淡水中學校（二十五中）二等臺北第二師範學校（二十三中）

△女子團體（十八中）一等第三高女（[illegible]）二等第一高女（十六中）

△個人（十二射中）【男子】一等[illegible]（[illegible]中）十中、二等[illegible]正治（[illegible]）九中、三等毛利[illegible]（帝大）九中【女子】一等小野[illegible]（一女）八中、二等林氏[illegible]（三女）七中、三等河[illegible]（三女）五中

けふから全島官衙

夏期時間へ

夏の訪れに全島お役人の官服は既に白服に變つてゐるが執務時間も六月一日から全島各官衙一齊に夏期時間を採用前年通り午前八時出勤の午後二時退廳となつてゐる

立大勝つ

【東京發同盟】東京大學野球春季リーグ戰立大對東大、早大對明大、早大對法大各二回戰三試合は三十一日神宮球場で擧行、立大對東大戰は午前十時七分開始、[illegible]四[illegible]一で立大勝つ、試合時間二時間一分

立大　000010300　―4

東大　000000101　―1

バッテリー（立大）小島―永利（東大）[illegible]―永松、岡本

法大再勝

早大對法大二回戰は三十一日午後三時五十三分法大先攻で開始、法大は[illegible]木の[illegible]投に依り[illegible]せば早大も一[illegible]同[illegible]の左腕に[illegible]を[illegible]し試戰した結果八對四で法大[illegible]勝した

スコア

法大　010004201　―8

早大　000021100　―4

バッテリー

法大　柚木―[illegible]井

早大　由利、岡本―小川

慶大勝つ

[illegible]回戰は午後四十四分[illegible]、[illegible]で慶大勝つ、[illegible]時四分

スコア

明大　000200000

慶大　00000020[illegible]　3A2

バッテリー

明大　[illegible]本―松井

慶大　[illegible]田、山村―阪井

けふ南寮海水浴場開き擧行

【新竹電話】新竹市では一日午前十時から南寮海水浴場開きを擧行するが[illegible]でも三十一日午後四時から浴場[illegible]を行つた

天岡民夫人　[illegible]長天岡直嘉氏夫人[illegible]子さんは東京に於て[illegible]を[illegible]療養中のところ[illegible]三十日逝去した

胃腸 自力健康器
食慾が進み、メキメキ肥る
使用は簡單 朝夕十五分
女も子供も老人も！
藥店にあります
專賣特許

ラヂオ

◇六・一〇　體操（臺北）

◇六・三〇　國民の誓ひ（東京）

◇七・五〇　體操（東京）

◇九・〇〇　國民學校放送の時間（東京）

◇九・三〇　[illegible]（臺北）

◇一〇・〇〇　幼兒の時間（東京）

◇一〇・三〇　[illegible]

◇一一・〇〇　[illegible]

◇一一・三〇　[illegible]（東京）

◇〇・二〇　ハーモニカ合奏（東京）

◇一・〇〇　[illegible]（東京）

◇一・三〇　[illegible]

◇二・〇〇　[illegible]（大阪）

◇四・〇〇　[illegible]（東京）

◇五・三〇　[illegible]（臺北）

◇六・〇〇　少國民の時間（東京）

◇六・三〇　演劇と生活（臺北）

◇六・五九　時報（東京）

◇八・〇〇　初夏の夜（臺北）

◇八・三〇　[illegible]

◇九・〇〇　[illegible]

ニュース　七・〇〇　三・〇〇　[illegible]

債券 株式

[illegible]

富榮證券時報

臺北市京町一丁目 富榮證券株式會社

臺北市[illegible] 台灣肛門病院

新着ラジオ受信機（市內各ラジオ店ニ至急お申込）臺北ラジオ商組合

萬媒 外務 採用 洋裁 興亞 香港 讓事 新築 桐造 賣電 [illegible]

國際館 新世界館 臺劇 大世界館 芳乃館 榮座 [illegible]

映畫 演藝

七分搗の御飯に慰問袋に是非…ごま鹽

第一回決算報告 南邦林業株式會社

蓬來不動產株式會社

第貳拾五期決算 星規那產業株式會社

第四回決算公告

水晶 冷藏 扇子 引越 和音 ラジオ メガネ 印鑑 債券 犬猫 馬來 馬日 礦山

案內

米國の敗戰は當然

パラワン群島 米兵捕虜の告白

【東京發同盟】比島クヨ島にて三十日河上海軍報道班員發―「アメリカの ヒリッピン」から「亞細亞のヒリッピン」として比島はその本然の姿に立ち返りつゝある、これは軍艦〇〇に配乘パラワン群島作戰に從軍した記者(河上報道班員)の數日間の記錄である

百二名に一日米七升

五月〇日、パラワン群島の北端カラミアン諸島のブサンガ島沖合に勇姿を現はした〇隻のわが艦船から解き放たれた舟艇〇隻は薄明の中を陸戰隊を乘せて一路コロン灣に進む、舟艇は相前後して陸に着いた、その時駈ける陸にして三人、五人と萬歲、萬歲を連呼しながら陸戰隊の手に縋りついて來た人々がある、酋長こそ住民と區別はつかないが紛れもなく日本人だ、その人々の告げるところに從つて陸戰隊は忽ち同島百二名を救出した、有難う陸軍ひきずと眼一杯涙を溜めて感謝する人々に陸戰隊は「辛かつたでせうね、よく頑張つて下さいました」と慰めてゐる、この人達は大半が沖繩出身で海洋國民の意氣高らかに遙か南のニューギニア近海までも出漁に赴く途中昨年十二月十一日以來相前後して米比軍官憲のため舟諸共拿捕され留されこの地に今日まで監禁されてゐたもので百二名の內拿捕される時に七人が[illegible]となつてゐた、百二名に對して一日に米がたつた七升しか與へられず一日市民を含めて一握りの飯で我慢しなければならぬ日が多かつたといふ

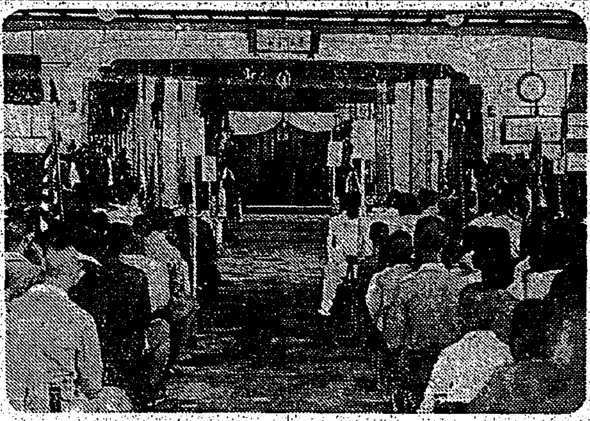
無電臺を占領　〇日また陸が上がらず雨滴の岸上にも殘らか涼しい風が吹ふところパラワン本島の中部首都プエルトプリンセサ沖に進駐した、各艦より續々陸戰隊が一言も發せず靜かに舟艇に分乘してゐる、記者の同乘する第〇〇陸戰隊の舟艇はプエルトプリンセサの背後の椰子林に着いた住民三人を道案內にして一路前進する目ざすは大無電臺を持つ無電局で敵は風を喰つて逃走してゐたが設備はそのまゝ確保出來た、五十キロ無電局を占領陸戰隊は高く日章旗を掲げ、シンガポール、バタビア、シドニーとマニラを連絡してゐた重要な連絡基地はここに止めを刺されたのである

この敗戰は當然　〇日わが陸戰部隊はパラワン本島から東進し錚々クヨ諸島に轉じた、アメリカ兵二名を捕虜として武裝解除された、彼等は啞然としてゐるその目の前で約一キロ離れた市內に艦艇各にたは二十七名が進入してゐるのを知り抵抗する隙を與へず全部捕虜として凱歌を擧げた捕虜になつたアメリカ兵の指揮官工兵少佐の話

私はペンシルバニヤ大學鑛山科出身で昭和六年に比島に來ました、開戰後パナイ、ミンドロ島と逃げ廻りクヨ島まで辿りついたのです、始めて見る日本軍の規律の立派さに感心ながら私の祖國の敗戰の當然なのを痛感させられました

二林街街葬執行

支那事變より偉大なる戰功を樹て大東亞戰爭に於て帝國の華として名譽の戰死を遂げられた臺中州北斗郡二林庄出身明治製糖大排沙農場社員故陸軍步兵伍長今久留主義雄君に對する街葬は去る二十九日午後二時二林國民學校講堂に於て森田州知事代理事務官、武村郡守、小森明治製糖所長、西宮司、寺田州議その他警察所長、各庄長、在郷軍人、青年團生徒多數參列の下に榮光ある葬儀委員長となり盛大なる街葬を執行した(寫眞は街葬)



陳軍屬の街葬執行

あす・新莊公會堂で

新莊街では六月二日午前十時新莊公會堂に於て今次大東亞戰に參加の第〇〇部特設勞務奉公團員としてマレー戰線に活躍中戰病死を遂げた故陸軍軍屬陳俊雄君の街葬を執行する事になつた、故陳俊雄君(二三)は臺北州新莊郡新莊街五三八番地陳海さんの三男で家事の仕事に熱心な模範青年で遺族は父陳海(五)さん[illegible]さん母陳翁氏[illegible]兄陳榮[illegible]弟陳傑[illegible]である(寫眞は陳君)

前戰社衆の "忠義一徹"を祈願

銃後の吾等も負けぬ樣職域奉公に挺身

阿里山社衆烈々の心情吐露 州當局へ

【嘉義電話】榮ある臺灣高砂義勇隊として前線に赴く臺南州阿里山蕃社出身の義勇隊員はこの程各自の郷元に書信を寄せ比島に於て神兵皇軍の手となり足となり活躍中でこの一視同仁の聖恩の下に光輝ある帝國臣民の一人として大東亞戰に參加し得て一死奉公の道を突進してゐる旨の活躍振りを報告して來たがお山の社衆は今次の戰爭に參加し得たこの榮光ある青年達の武運長久を祈念すると共に銃後を護る社衆も前線に負けずに職域奉公の誠をいたしてお山の增産に邁進するを誓ひ烈々たる心情を州當局に寄せて來た

阿里山を代表して行つた青年達は大いに活躍して居りこれ等征く者は何れも村の土地を再び踏まない決心で出て行つたので決死的奉公をしてゐることを知り我が子、我が兄弟ながら全く頼母しい限りである、而して毎日敬虔の心にて忠義一徹を祈願し敵國を徹底的に叩き伏せるやう念じてゐる、之は僕に村の名譽であると明に出てゐるのが判つてほんとに嬉しく私共は吾社を護つて銃後の一人々々として前線の青年達に負けないやう現下の增産に努める覺悟である云々

宜蘭商議所第三同發起人會

【宜蘭電話】去る五月二十日設立を認可された宜蘭商工會議所では三十日午後三時より市會議室に第三回發起人會を開催、種々協議するところがあつたが選擧人名簿縱覽告示同屆出其他左記の事項を決定した

△六月二日選擧人名簿縱覽告示同告示屆出△五日―十二日縱覽期間(會場市會議室)△七月三日選擧長指名申請(州知事)△八[illegible]が當選されることになつてゐるがそれまでは發起人一同一致協力することを誓つて四時散會したが商工會議所の前提である宜蘭商工協會は速やかに事務所を本北支局樓上に移し商工會議所への飛躍の日を待つことになつた

大嘉義市建設案

近く有力者集め座談會

【嘉義電話】嘉義市の震災復興は市當局並に十萬市民の撓まざる努力により既に七十五%の復興成り市況また活氣を呈し來つてゐるが更なる復興より一歩進めて大嘉義市を建設すべく市當局では種々具體案計畫を樹立中であり來月中頃には市內における各界有力者の參集を求め市勢の進展策について懇談會を開催する等で多大の成果を期待されてゐる

中元の贈答は絕對廢止

皇奉會彰化市支會の六月常會申合事項

【彰化電話】皇奉會彰化市支會では三十日各奉公班に對し六月常會の申合せ事項を次の通り指示する所あつた

△實踐事項

大詔奉戴日朝朝の時間 午前六時、常會の夕午後八時半より

一、中元の贈答は廢止しませう

二、時間勵行を嚴守しませう

三、冠婚葬祭の無駄を省きませう

四、寧ろ第一に世の中を明るくしませう

五、肥料は堆肥から努めて堆肥を作りませう

嘉義市でも運動の徹底的實踐期す

【嘉義電話】嘉義市でも中元贈答廢止運動を實施する、實施要項は

一、贈答を行はざること

二、贈答品の宣傳販賣並に陳列を自肅せしめること

三、贈答品を受け取らぬこと

の三つで六月中一ケ月を運動期間とし同期間を中心とし同運動の徹底的實踐を期するため六月常會に於て申合せを行はしめまた官廳學校會社銀行外各團體に協力を求めポスター、ビラ等を配付する外、奉公會役職員、奉公壯年團員、方面委員等をして之が實踐を積極的に督勵し實踐效果を擧げることになつてゐる、同業者組合は特に率先垂範の熱意を示すやう希望してゐる

鄕軍馬公分會 教練查閱實施

【馬公電話】鄕軍馬公分會では豫て國民學校及び未教育者に對し教練を實施中であつたが、三十一日午前八時から陸軍練兵場に於て風早査閱官、國田分會長、[illegible]部長、警察部長臨席の下に[illegible]良好の成績を示したが、終了後馬公國民學校講堂で分會懇親會を催した

嘉義郡下學校職員體育大會

【嘉義電話】嘉義郡では學校職員の士氣振作、體位向上を圖るため來る六月十四日午前十時から大林國民學校において郡下學校職員全員參加の下に體育大會を開催するがこれに先立ち午前九時[illegible]を開き前九時より[illegible]また午後一時から東西兩組野球大會を擧行する

三星庄大洲青年團けふ結成式擧行

【羅東電話】羅東郡では國家內外の情勢に鑑み青少年教育訓練の徹底を圖るため新轄區に於き青少年團の組織を結成する事になり六月一日午後二時三星庄大洲青年團の結成式を皮切りに冬山庄、五結庄、羅東街の順で來る十五日迄に全部終了し更に中堅を期し羅東郡青少年團結成式を華々しく擧行する

遺族から軍人援護資金に寄附

【嘉義電話】大東亞戰爭に參加し比島戰線に於て帝國の華と散つた故野木繁太郞兵長の遺族野木マツエさんは三十日軍人援護會嘉義支會に軍人援護資金として金一封を寄附した

二氏立候補

【彰化電話】彰化商工會議所議員選擧では三十日選擧告示をしたが二級の會議所議員選擧に彰化代表者安田徳作氏が同日その一番に、同じく二級の盧國泉氏が第二番目に夫々立候補屆出をなした

俘虜監視員志願者採用試驗

高雄州・けふから

【高雄電話】高雄州下十二日六十三名の俘虜監視員志願者に對する採用試驗は六月一、二の兩日午前八時半から高雄中學校で實施される

男女中等學校軟式庭球選手權大會

臺南州十三、四兩日開催

【臺南電話】臺南州體育會主催の男女中等學校軟式庭球選手權大會は女子部六月十三日、男子部同十四日の兩日に亙り竹園コートにおいて擧行されるが男女校試合は各校五組(女子三組)のリーグ戰個人選手權は一校三組以內(女子五組以內)としトーナメント式による

賞金をその儘國防獻金

【新竹電話】去る二十六日新竹驛附近でスパイ容疑者を發見屆出た新竹國民學校六年生傅漢祿、許文賢外三名は防諜に熱心を持つて居り時節柄誠に感心なものであると署長より表彰されたが三十日その賞金十圓を全部國防獻金として獻金した

兩部落を國語常用部落に指定

【彰化電話】彰化市では國語不解者を一掃すべく今回中區本町及大竹區柴坑子兩部落を國語常用部落に指定したので中區本町では來る六月二日、大竹區柴坑子では同じく三日夫々宣誓式を擧行することとなつた

嘉義市臨時市會

來る五日招集

【嘉義電話】嘉義市では來る六月五日午前十時市會議室に臨時市會を招集、震災復興追加豫算の件他四件を上程審議する

臺中州下男子中等學校球技大會盛況

【臺中電話】臺中州學徒體育會主催の州下男子中等學校籠球、排球、蹴球選手權大會は三十一日午前九時から臺中一中校庭で催されたが蹴球は中商に排球は中一中に[illegible]が上り午後四時半頃終了した

嘉義高女創立記念式

【嘉義電話】嘉義高女創立二十周年記念式は三十一日午前十時四十分から同校講堂で知事代理佐藤總務課長、學務課長始め市內及び郡內主なる中等學校長外官民有力者多數列席の下に盛大に擧行され式後一同記念撮影をしたが午後一時からは軍隊、白衣の勇士、出征軍人遺家族を招待して感謝會を開催、舞踊、獨唱、時局色豊かな學藝等生徒の熱演があり四時頃盛況裡に閉會した

大東亞戰戰捷日誌（六）

三月

▲三、一

△陸軍大部隊は一日未明ジャワ島東部、中部、西部各方面の敵前上陸に成功し引續き戰果擴大中本上陸作戰における我船團の損害は沈沒一隻、擱坐三隻人員の損害は殆ど皆無△スラバヤ方面海軍作戰部隊は一日午前十一時クラガン北方海面にて英甲巡一隻並に驅逐艦二隻を擊沈

▲三、二

△ジャワ方面海戰において三月一日早朝迄に判明せる戰果左の通り(一)スラバヤ方面海軍作戰部隊は(二十七日薄暮より二十八日未明まで)敵米英蘭聯合艦隊に對する巡洋艦三隻、驅逐艦六隻を擊沈、巡洋艦四隻を大破(註)本海戰をスラバヤ沖海戰と呼稱す(二)バタビヤ方面海軍作戰部隊は三月一日早朝米大巡一隻と豪巡一隻を擊沈、(註)本海戰をバタビヤ沖海戰と呼稱す、同海戰に於て我蘭印方面部隊主力を擊滅し、之が殘存艦艇數隻小破せるも我方の損害は驅逐艦一隻小破△比島方面海軍航空部隊は一日ミンダナオ島西岸の要衝サンボアンガ敵前上陸に成功完全に占領△米本土西岸方面に作戰中の帝國潜水艦は一日サンフランシスコ沖合に於て一萬トン級油槽船一隻と、同二日メンドシノの近海に於て七千トン級貨物船一隻を擊沈

▲三、三

△マレー方面陸軍部隊のマレー上陸以來シンガポール島要塞攻略までの綜合戰果(一)敵に與へたる損害、俘虜九五、〇〇〇遺棄死體約一五、〇〇〇、擊墜破飛行機五五一機、擊沈破艦艇および船舶一〇一隻、戰車(裝甲車を含む)四五〇輛、重砲其の他含む火砲六三〇門、機關銃二、五五〇挺、自動小銃及び小銃五二、〇〇〇挺、各種自動車三、六八三輛、鐵道車輛八三三輛、其の他兵器彈藥、資材多數(二)我軍の損害戰死三、五〇七名、戰傷六、一〇〇名、飛行機自爆八、未歸還二八、不時着その他[illegible]計七二機

△海軍部隊は二日ジャワ島ラチャブ沖において英驅逐艦ストロングホールドを、三日未明驅逐艦アセタイルを擊沈

▲三、四

△蘭印方面所在海軍作戰部隊は二月二十七日より三月一日に至るスラバヤ沖、バタビヤ沖兩海戰において同方面所在敵部隊を擊滅せり、その時の戰果左の通り(一)擊沈せる敵艦艇[illegible]米甲巡ヒューストン一、英甲巡エクゼター一、英乙巡パース一、[illegible](蘭乙巡)デ・ロイテル蘭乙巡、ジャバ蘭乙巡(二)その他擊沈せるもの潜水艦七隻、驅逐艦八隻(內一隻大破擱坐)掃海艇一隻本海戰においてわが方損害驅逐艦一隻沈沒、驅逐艦一隻小破

▲三、五

△四日未明、敵機約三十機南ボルネオ島上空に出現せるも反擊を加へ敵機七機を擊墜、交戰約一時間にしてこれを擊退、本戰闘においてわが方建物一棟炎上、死傷八名を生じたり△スマトラ方面陸軍部隊は四日午後五時中部スマトラの要衝ジャンビを占領すると共に同地南方一帶の油田地帶を確保し、五日南部スマトラ一帶の平定を完了△ジャワ方面陸軍部隊は五日午後九時三十分敵首都バタビヤを完全に攻略

▲三、六

△十二月八日の緒戰に於けるハワイ強襲の特別攻擊隊に參加殉死の勇士名發表―岩佐直治中佐、横山正治少佐、古野繁實少佐、廣尾彰大尉、横山薫範兵曹長、佐々木直吉特務少尉、上田定兵曹長、片山義雄兵曹長、稻垣清兵曹長九軍神の特別進級發表△海軍航空部隊は三月三日濠洲のブルームを急襲し所在機全部二十八機を擊破又本攻擊に並行し他の一隊はウインダムを襲ひ飛行機三機[illegible]炎上せしむ△海軍航空部隊は三月一日、二日東部ジャワ島及び同島以東スンダ列島各要航空基地を攻擊し殘存敵飛行機合計二十六機を擊墜破△海軍航空部隊は三月四日大擧ジャワ島バンドンを強襲し敵機十八機を擊墜破

▲三、七

△更にニューギニヤ島北東洋上において我攻擊を受けた敵航空母艦は沈沒確實なる事判明本航空母艦は中型新式航空母艦なり△比島方面海軍部隊は二月二十八日より三月一日にわたり比島周邊海面において、二千トン乃至五百トン級敵船八隻、砲艦一隻を擊沈、二千トン級および八百トン級敵船各一隻を拿捕せり

▲三、八

ビルマ方面帝國陸軍部隊は七日午後ペグーを、八日午前十時頃[illegible]を完全に占領

▲三、九

△海軍巡洋艦部隊は一日蘭印方面印度洋上において米巡マーブルヘッドを擊沈△海軍驅逐艦はバリ島ロンボク水道附近において蘭驅逐艦ヤンファンネス號を擊沈△海軍[illegible]アムステルダムを擊沈△[illegible]は七日早朝ジャワ島南方クリスマス島を砲擊しその軍事施設を破壞△ビルマ方面陸軍最高指揮官は陸軍中將飯田祥二郎なる旨發表△蘭印方面陸軍最高指揮官は陸軍中將今村均なる旨發表△ジャワ方面陸軍部隊はジャワ島の敵軍主力をスラバヤ及バンドン附近に同時包圍してこれに猛攻を加へ上陸後僅かに九日にして蘭印軍約九萬三千、米、英、濠軍約五千をして全面的無條件降伏せしめたり、時に三月九日午後三時なり

▲三、一一

△蘭印方面帝國陸軍部隊のジャワ攻略作戰において收めたる戰果の主なるもの左の如し(一)俘虜 九萬三千(內濠英米約一萬二千)(二)鹵獲品 飛行機百五十二機、火砲七百三十一門、機關銃千五百[illegible]、裝甲車[illegible]、小銃九萬七千[illegible]、自動車[illegible]、各種彈藥[illegible]、手榴彈三萬四千發、各種銃彈[illegible]

▲三、一二

△陸海軍部隊は緊密なる協同のもとに三月八日未明、ニューギニヤ島東岸の要衝サラモア並にラエの敵前上陸に成功、十日敵約六十機の反擊ありしも四機を擊墜、本戰闘に於て我方の損害左の如し(一)沈沒輸送船一隻、[illegible](二)損傷、輸送船一隻、驅逐艦一隻(小破)、掃海艇一隻(中小破)、輸送船三隻(小破)、「註」損害船は上陸完了後にして戰死一名の外人員の損害なし

▲三、一三

△海軍航空部隊はニューギニヤ島ポートモレスビーに對し、三月十日並に十二日、[illegible]の大空襲を敢行、[illegible]炎上し、その[illegible]航行中三月五日英驅逐艦一隻を擊沈

▲三、一七

△海軍潜水艦の印度洋及びビルマ沿岸方面に於ける三月十六日までに擊沈せる敵船左の如し(一)コロンボ方面、武裝商船二隻六千五百噸、油槽船二隻一萬噸(二)マドラス方面、武裝商船二隻二萬四千噸、油槽船一隻七千噸(三)ラングーン方面、武裝商船三隻一萬九千噸、貨物船一隻五千噸

▲三、二三

△陸海軍部隊は二十三日未明、南アンダマン島ポートブレアに奇襲上陸、同島英軍をして無條件降伏せしむ

▲三、二四

△帝國海軍航空部隊は三月十七日以來連日濠洲本土北部、ニューギニヤ島ソロモン諸島並にベンガル灣アンダマン諸島一帶を偵察、敵要地を爆擊し、その軍事施設を破壞せり、主なる攻擊箇所次の如し

ポート・ダーウイン、ダービー、ブルーム、ウインダム、ホーン島、ポート・モレスビー、ツラギ、ポートブレア

▲三、二六

△帝國病院船朝日丸は三月二十六日午前七時五十三分、チモール島クーペン港を日章旗飛行中、突如米英國所屬の飛行機ロッキード型一機の爆擊をうく

讀書

鳥獸の習性

―狩獵家の見たる― 堀內讃位氏著

著者は狩獵家である。狩獵家は當然自分の狩らうとする鳥や獸の習性を辨へて居らなければ好い結果を生み出し得ないから、かうした著者の生まれ出る必然性はあるわけであるが、本書は從に鳥獸の生活習性をあらゆる方面から面白く描いてゐる。

猛犬に寄つてくる鴉、鵲、凶鳥などの惑つた性質、水鳥であり乍ら山中に巣を營むオホミヅナギドリや、わざと傷を受けたふりをして人間を釣るカルガモ、古來からの渡り鳥の經路等が、宮內省保存の各鴨場の鴨をはじめ種々の立場から、眼に見えるやうに書いてある。また熊や兎の話も興味深い。

著者はさきに「日本鳥類狩獵法」を現はしたり、文化映畫「鷹狩」を撮影したりした斯道の名手でもあるが、二十四葉の生態寫眞もよい出來であると思ふ。

なほ表題として、美しい和紙の下に小鳥の羽の模様をいれたのも風雅があつて床しい（B6判、三六六頁、三・〇〇東京市小石川區大塚坂下町一〇二 錦森社）

新刊紹介

◆日本戰爭經濟力の諸問題(豊島秀良著) 日本の戰爭經濟力を國民經濟の再生產力の形に於て捉へ、その限りに於ける日本經濟の生產力、及び海運力その機構及び建設、貿易及び通貨、現狀及び趨勢を取扱つたもの(B6判裝、三三六頁、一・八〇、東京市小石川區音羽町一ノ一同文館出版部)

◆國家目的と文化の問題(竹內方範著) わが皇國の國家目的と文化の諸問題を論じた[illegible]科學的教育と歷史教育等についての著者のはげしい熱情を盛つた國粹を吹めたもの、著者は醫學博士であるが、論材は廣く文化部門にわたつてゐる(B6判上裝、二九六頁、二・〇〇、名古屋市中區大池町五丁目日馬書房)

◆自動車と戰車の操縱(宮本晃男著) 主として自動車の構造、種類からその操縱法を圖入で說き、更に戰車、裝甲自動車、牽引自動車の操縱法を記したもの(B6判上裝一六六頁、一・六〇東京市神田區錦町三ノ二〇育生社弘道閣)

◆兵器模型(櫻井鼎一著) カタペルト、銃兇、機關銃、防毒面、潜水艦、飛船グライダー、戰車、航空母艦等の簡單な作り方を圖入で說いたもの、國民學校五六年以上の少國民にすすめたい好著である、著者は奈良女子高師教授(B6判上裝、一六二頁、一、〇〇、大阪市西區阿波座通一ノ三三文祥堂)

◆幽囚錄(吉田松陰著) 松下村塾版の古い木版本を全部凸版に附して收め、これを假名交り文に書きかへたものに一章一章解說を加へ、以て吉田松陰の愛國の至情を紹介したもの、詳細な解說は[illegible](B6判假裝二三六頁、一、〇〇、東京市麴町區五番町十二朝日書房)

◆山田長政と南進先驅者(岡田謙著) 山田長政は單なる武人ではなく、偉大な政治家、貿易家でもあつた、活躍の舞臺を海外に求めた點では明治維新前將等さるべき一人と云つてよい、本書は長政の傳記を小說風に書いたものであるが、別に南進先驅者として呂宋助左衞門、角屋七郎兵衞、菅沼貞風、[illegible]等の簡單な傳記を收めてゐる(B6判裝三一二頁、一・八〇、東京市小石川區小日向水道町一ノ四一潮文閣)

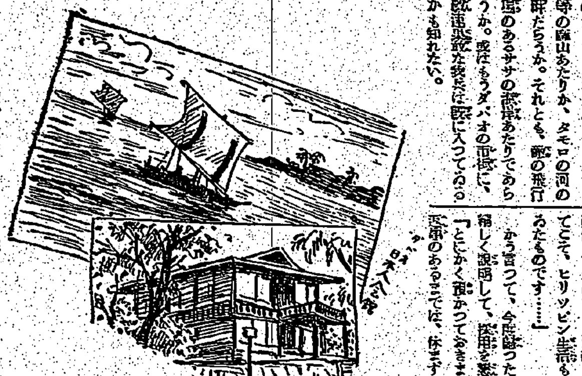
▲流言と文藝(二ノ五)この號では方言文藝案內[illegible]

愛の赤道(80)

竹田敏彦

都竹伸一畫

捷報の蔭(四)



アポ火山の雄姿を背にして、南子の密林に憩ふたり、ペダスの遊サマルの島を指呼の間に見て、碧藍の海にヨツトを浮かべたササの海岸、さては、懐かしの人に送られて、悲しの別れを惜んだサンタナの波止―

我が精鋭の上陸は、それらの內の、何れの地點であつたらう。二郎は、さまざまと眼に浮ぶ南國の海を心に描いてみた。

それにしても、さほどの激戰は、何處の地域に繰りひろげられてゐるのだらう。ミンタル、カタルナン等の邊山あたりか、タモロの河畔だらうか。それとも、敵の飛行場のあるササの海岸あたりであらうか。或はもうダバオの市街に、歡喜勇敢な我兵は既に入つてゐるかも知れない。

いつも、よく流暢すと歩いたサンペドロの街、洲廳前のオスメニヤ公園。――いや、それよりも、學校は?我が家は?日本人會は?そして、あの多くの同胞達は?

二郎は、銃火と砲煙と、敵中における同胞達の苦難と惑亂を想像した。

その夜、二郎は、家業について、容易に安らかな眠りには入れなかつた。

「さうだ、もう愚図々々してはゐられない。商業報國も大切だが、人々には自ら適材適所がある!」

さう決心した二郎は、翌日は、工場へ電話で休みを屆けて、丹念に履歷書を書き上げると、陸軍省へ驅けつけた。

「軍屬として、ヒリッピン方面で働かせて戴きたいんです」

應用係を訪ねて頼んだ。係の將官は、履歷書を一瞥して、

「陸軍兵器作所へ入つてから、まだ一と月經つたばかりぢやないかね軍需工場も多忙で人手不足のものだから、奉公の途は、同じぢやないかね」

「それはよく承知してゐますが、民政部にもあります通り、元來私は軍人を志願して、陸軍士官に志官したこともあり、殊にヒリッピンには永年居住して、彼地の研究には及ばずながら、多少の自信もあります者で、同じ御奉公をするにしても、未熟、未經驗の下僚に働くよりは、あちらに出向いて働く方が、お役に立つ率直も遙かに違ふだらうと思ふのです。いや、直裁を言へば、こんな時を目標にしてこそ、ヒリッピン生活も續けてゐたものです……」

かう言つて、今度陳つた事情も細しく說明して、採用を懇願した

「とにかく預かつておきますから天命のあるまでは、休まずに、工場で働いてもらふことですね」

「それはよく判つてをります。ではくれぐれもお願ひいたします」

二郎は、陸軍省を出たが、何かまだ不安だつたので、急いで家へ歸ると、一通の手紙を書き、それに履歷書を添へて、封筒に入れ、直ぐにまた、家を出た。

二郎が電車を降りたのは、三宅坂だつた。それから彼は、お濠端の道に沿つて右へ、陸軍省の正門を入つていつた。

午後二時を過ぎたばかりで、戰時下の陸軍省內には何か眼に見えない活氣が森々の中で燃え立つてゐるやうに思へた。

二郎は、正面玄關の受付係の前へ行くと

「××局長の大谷閣下にお目にかかりたいんですが……」

如山大將の手を通して、彼が在比六年間の論說を綴つた例の論文が上申されてある大谷局長に面會を求めたのである。

胃腸機能を整調化する
エビオス

生毛素 コレステリン 含有
柳屋ポマード
明るい頭! 元氣な顏!
戰後日本の青年こそ凡ての點にキチンとして居して下さい
柳屋本店

50セ/均一 1日2日3日4日
不良青年涙あり 都會奔流
佐分利・川崎・大谷・三井秀男
校長より結婚への 花嫁競争
桑野通子・木暮實千代・三浦光子
台劇

美りとひきに 美顔水
ニキビ吹出物に
ニキビ吹出物によく効くので評判の薬です
美容藥としても
この藥はまた優秀な美容藥としても廣く賞用されてゐます
蚤蚊南京虫家ダニ等にさゝれた時!
この藥を一寸つけますと、不愉快なカユさが止りアトがオデキになる心配がないので家庭藥としても重寶です。
ニキビ

づつうに サール

血液を淨化する リキシン
高血壓に 中風に
本劑は濁り血を除き血行をよくするので高い血壓が下り頭痛、のぼせ、不眠耳鳴り、便秘が治り腦溢血を豫防す。
リキシンを服用し乍ら適當な養生をすれば手足シビレや舌モツレは勿論、半身不隨の重症でも次第々々に快方する。
一円半・三円半・六円半 全國藥店に有 大阪今井本舖

肋膜病 全快者發表の高貴藥配劑
あらゆる治療法を盡して効なき者等も希望を捨てず根底的治療を試みられよ
りん病 急性慢性激症淋病再發淋病
ばい毒 初期二期三期梅毒
中風 腦溢血、中風は絕對に悪疾
胃腸病
台灣 台北本町二 大龍峒 基隆日新町 宜蘭街南門 新竹 嘉義驛前 台南錦町二 高雄山下町
有田ドラッグ
輕い內なら治りが早い 經過の良くない方を 有田ドラッグへ

動悸・息切れ・ねあせ・熱を去り・食慾を增進する
特種動物ホルモン精膽藥
救心
心臟や胸の
抗病ホルモンを增して丈夫にする
心臟や肺、胃の弱い方に喜ばれる「救心」の原料は、熱帶や寒地、不毛の高原、深海等に棲む強精動物の精膽である。麝香、犀角、熊膽、牛黃、眞珠他數種で、昔は大名や武士の護身用印籠藥や重病の救急に珍重され、今はホルモン療法に賞用される臟器精藥です。
●心臟、肺、ろく膜 胃弱、心臟脚氣の方 ●動悸、息切、ねあせ 熱、咳、食慾不振に
朝一粒夕一粒
救心本舖

胃腸・榮養・消化
腸 カ タ ル
錠劑 わかもと
腸機能に具はる自然治癒力を增強し本復へ!
强力な消化酵素とビタミンBに富むわかもとは、特有の細胞賦活作用により病衰した腸管に活力を與へて、その能力を回復せしめ、一時凌ぎの對症療法とは異る自力的治癒を圖ります。
制腐吸着
その上整腸劑わかもとは腸內腐敗作用を抑制し、有害物の吸着を强めその吸收を阻止する働きもありますので、本劑を用ひますと腸カタルは原因的に治癒され、種々の症狀は消退し、再び活潑な消化吸收を營むに至ります。
一日 廿五日量 一圓六十錢
乳兒には粉末
わかもと本舖